

令和 7 年 1 月 経営協議会（オンライン会議）議事録

I. 日 時 令和 7 年 1 月 20 日 (木) 14 時 00 分～16 時 01 分

II. 出席者 横手学長、香藤、河田、塩尻、渋沢、島田、錢谷、西堀、船橋、正宗、森島
中谷、後藤、齋藤、小澤、丸山、堀、岩崎、小林、伊藤、三木、
諏訪各委員

ガバナー 大井監事
(欠席者：岩田、草開、宮坂、大鳥各委員)

III. 前回議事録について

原案のとおり承認された。

IV. 審議事項 (◎学外委員、○学内委員)

1. 学長選考・監察会議の学外委員の選考方針等に関する検討依頼への対応について
横手学長及び中谷理事から、学長選考・監察会議の学外委員の選考方針等に関する検討依頼への対応について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

◎ 任期の上限について、8 年は妥当ではないかと思う。

2. 国立大学法人千葉大学就業規則等の一部改正等について

丸山理事から、国立大学法人千葉大学就業規則等の一部改正等について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

◎ 人事院勧告に、これまで大学として準拠しなかったことがあったか。

○ 国立大学の法人化以降、デフレの期間が続いたことから、人事院勧告への検討が必要になったのは、ここ数年のみの話である。今後、臨時国会で補正予算審議が行われるが、今回、人件費の上昇等に対応するための経費が新たに概算要求されている。この予算規模次第で、大学の予算に大きく影響するため、注視していきたい。

◎ 専門的な識見能力を持った人材を確保するためには、異なる給与体系を用意する必要がある。

V. 報告事項

1. ダイバーシティ推進部門 C—D E I B 推進のための具現化プロジェクトについて
後藤理事から、ダイバーシティ推進部門 C—D E I B 推進のための具現化プロジェクトについて、資料に基づき報告があった。

◎ 取組を推進するにあたって、一番の課題は何か。特に異文化から来る留学生などに対して、より心を開ける環境を作ることが大学の一つの宿命だと思う。

- 一番の課題は、ジェンダー平等をいかに大学の中で進めるかということである。現在は女性の研究者の割合を高めることを中心に行っている。
また、留学生等への対応については、ダイバーシティ推進部門と関係部署との連携を強化する必要がある。現在、様々な文書を英語で発出することを始めているが、中国からの留学生が多くいることから、中国語で文書を発出していく等の対応を徐々に整備していくことが必要だと考えている。
- 今年度は性のダイバーシティに関して焦点を当てているが、学内調査から、留学生や障がい者の課題にも目を向けるべきという結果が出ているため、今後対応が必要だと考えている。
- 同じ日本人の中でも年齢や経験の差など、それぞれ異なるものを各人が持っているため、それを認め合っていく観点からも、ぜひダイバーシティを推進していただければと思う。
- トイレから始まるインクルージョンと似たような課題が、更衣室にもあるのではないか。
- 更衣室の問題もあると伺っている。今後は、更衣室も含めて調査していきたいと思う。
- 特に実習等で学外に行った際の更衣室の問題が挙げられているため、千葉大学に限らず、地域や他の施設にもD E I Bの考えを浸透させていきたい。

2. 令和8年1月経営協議会の開催方法の変更について

宮近企画部長から、令和8年1月経営協議会の開催方法の変更について、資料に基づき報告があった。

3. その他

①医学部附属病院の運営状況について

小山田附属病院事務部長から、医学部附属病院の運営状況について、資料に基づき報告があった。

②デザイン・リサーチ・インスティテュート（日本経済新聞）の記事について

横手学長から、デザイン・リサーチ・インスティテュート（日本経済新聞）の記事について、資料に基づき報告があった。

横手学長から、会議全体を通して様々な視点からのご意見又はご質問を伺いたい旨、発言があった。

主な意見は以下のとおり。

- 医師のストレスが下がったのは素晴らしいが、メディカルスタッフや事務局の方のストレスが高い。C—D E I Bと連携して、職場の改善ができる可能性があるのではないか。

- ◎ 様々な考えの人を受け入れられるような、インクルーシブな社会を作っていくかなければならない。国際的な観点からも千葉大学がリードして進めるという意気込みでやっていたい。
- ◎ 学生たちには、ネガティブメディアを鵜呑みにせず、自分の意見をもつ力を身につけてほしい。
- 教師はSNSの意見とのギャップを埋める必要がある。学生が感じている事柄を頭ごなしに否定するのではなく、考える機会を提供したうえで、健全な考えを学生が持つように知恵を育んでいきたい。
- ◎ 絶対善みたいなものではなく、他者の存在を前提にしたところでもう一度考え方でみるプロセスを習慣化することを大学教育でやっていただきたい。
- ◎ 高等学校以下の教育では、子供たちの多様化が進んでいる中で、多様性についてどのように教育活動の面で配慮できるのかということが大きな問題の一つになっている。千葉大学として学生にどのような教育を実施していくのか、議論が聞けて良かった。
- ◎ 社会との関係、SNS上のフェイクニュースや思い込みの意見、AIの利用等に対し、大学は非常に大きな力を持っている面もあるので、物価高騰が大学の経営に大きく影響を及ぼしているとは思うが、ぜひ頑張っていただきたい。
- ◎ 学長を先頭にYOKOTE VISIONを大学全体で具体化し、千葉大学が進むべき方向に歩み始めていくことを期待している。

以上